

小金井市施設ごみゼロ化行動実施計画

計 画 年 度	令和5年度	部 会 名	保育園等ごみゼロ化行動推進部会
会 長 名	(職名) 保育課長	(氏名) 三浦 真	
対象とする施設名称	各保育園		
廃棄物の減量目標	令和3年度排出量実績量を維持		
資源化率の目標	77%		
計画年度における取組			
<p>1 市施設ごみゼロ化行動基本計画 行動計画に定める事項</p> <p>(1) 廃棄物の減量目標 令和3年度実績を維持 19,233kg</p> <p>(2) 廃棄物の資源化率の目標 令和3年度実績の3%増 74% ⇒77%</p> <p>2 ごみゼロ化実施計画目標を達成するための具体的な取り組み</p> <p>(1) ごみの発生抑制について</p> <p>① 給食室から出る生ごみは、生ごみ処理機で堆肥化して利用を徹底する。</p> <p>② 職員が購入したもののごみは自分で持ち帰る。</p> <p>③ 残菜、食品ロスを発生させないよう配慮する。</p> <p>(2) 紙資源について</p> <p>① ダイレクトメールやチラシなどは出来るだけ断るようになる。</p> <p>② システムの使用など紙を使わない方法を選択する。</p> <p>③ 使用済みの紙・ミスプリント紙の再利用を徹底する。</p> <p>④ 会議資料等は縮小印刷や両面印刷を使い枚数を削減する。</p> <p>3 目標を推進する職員の心構え</p> <p>各保育園において意欲的に取り組んでいるが、保育園の運営上発生が抑制しづらいごみも多く、継続して取り組むことが必要。新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、排出量は前年度の目標を達成できなかった。ごみの発生抑制に積極的に取り組んでいくと共に、できるだけ資源化ができる様、意欲的に取り組みをしていく必要がある。</p>			